

神奈川県技術・家庭科研究部会のこれまでと今後



神奈川県公立中学校教育研究会
技術・家庭科部会 部会長 松山 雅彦

昨年度創設 50 周年を迎えた本研究会に平成 7 年度以降様々な形でかかわってきた。私が部会の一員としてかかわった当時は調査・研究事業を行う組織であった。先輩からは「この研究会の活動によって免許法認定講習を行政に働きかけるきっかけとなったのだ」という話をうかがった。この話は昨年度の式典の中で元部会長の松本荘一様からのご祝辞にも出ていたのをご記憶の方もいらっしゃるのではないだろうか。

このエピソードにあるように、技術・家庭科教育は時代とともに形も内容も大きく変化する教科である。この半世紀の中で、教科の使命そのものが大きく変わってきたことを感じている。私見ではあるが、中学校を卒業してすぐに就職したり家庭生活を築いたりすることもあった時期の技術・家庭科は、産業教育や生活自立教育の使命が色濃く反映されている。後期中等教育が一般的になると生活科学的な要素が強まってくると同時に男女共同参画の時代を反映した共学共修の仕組みが組み込まれた。当時のある先輩は「この時期に内容の大幅な削減があり教科の内容が大きく変わった」と述懐している。次のムーブメントは技術分野に情報の内容が新設されたことであろう。生活の中に IT がどんどん入ってくると教科書採択の翌年には新しいテクノロジーが開発され、現在では技術・家庭科の学習内容のすべてに情報技術が土台となった学習を意識する時代が到来した。現在、AI とともに歩む時代を迎えてきている。AI に触れないで教科を語るとは難しい今日、技術・家庭科教育にもその影響は色濃く反映されていくと考えられる。

会報 100 号の節目に、中学校技術・家庭科の教員として果たす使命を学習指導要領から読み取るとともに、これまでの学習指導にしがみつくとではなく、新たな時代を生きる人材育成に必要な教科の在り方について本研究会が有益な情報提供の場として機能していくことを目指したい。

「研究会報第 100 号」発刊に寄せて

神奈川県立総合教育センター
副主幹（兼）指導主事 佐藤 竜也

技術・家庭科研究部会研究会報第 100 号の発刊にあたり心よりお祝いを申し上げます。これもひとえに、長年にわたり技術・家庭科教育の発展にご尽力いただいた皆様のおかげであり、心より感謝申し上げます。本会報は、技術・家庭科教育に携わる先生方の貴重な実践や成果を共有する場として、多くの方々の研究の支えとなってきました。

第 100 号を迎えるにあたり、社会も大きく変化しています。現在は、生産年齢人口の減少、グローバル化、絶え間ない技術革新等により、社会構造や雇用環境が急速に変化する予測困難な時代と言われています。このような時代において、学校教育では様々な変化に積極的に向かい合い、他者と協働し、新たな価値を見いだしながら問題解決に取り組むことが求められています。

特に生活や社会との関わりが大きい技術・家庭科では、社会状況の変化が指導内容にも影響を与えます。技術分野においては、情報技術の急速な発展に伴い、製品がネットワークとつながる IoT、3D プリンタやレーザ加工機を利用した新しい加工方法、センシング等によるデータの活用、また生成 AI の普及など、ものづくりにおいてもデジタル化が進んでいます。家庭分野においては、家族や家庭生活の多様化、グローバル化、また消費生活の変化、社会の変化に応じた法律の改定等への対応、持続可能な社会の構築など、現代社会において注目されていることが取り上げられています。しかし、これらも次期学習指導要領では、さらに新しい内容が加わっているかもしれません。

技術・家庭科では、生活や社会の中から問題を見いだし、見方・考え方を働かせて問題解決する活動を通して、生活を工夫し創造する態度を育てることが重要です。これからの技術・家庭科教育を指導する先生方には、新しい技術や社会の状況、生活の変化を敏感に取り上げつつ、問題解決を通して自分の考えを持って社会に参画できる人材を育成していただきたいと期待しております。

2024年度各地区研究テーマ

	技術分野	家庭分野
横浜	『育成を目指す資質・能力』を育む技術・家庭科におけるカリキュラム・マネジメント ～資質・能力の育成に資する実践的・体験的な活動の在り方～	
川崎	よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生活を工夫し創造する生徒の育成 ～生活や社会の問題を解決する力につながる知識及び技能の習得を目指して～	
横須賀	主体的に学習に取り組む態度の評価を通じた教師の指導改善の工夫	
三浦	技術分野と家庭分野を横断したカリキュラムの開発	
逗葉	学習評価の充実に向けた指導と評価方法についての研究 「思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度の評価方法」	
鎌倉	生活を工夫し、創造できるようにする教材の研究	
茅ヶ崎・寒川	観点別評価方法の探求と指導方法の工夫・改善	主体的に取り組める題材と評価の工夫
藤沢	誰もが指導できる設計の指導方法の考察	学びを生活に生かし、実践につなげる工夫
厚木 愛川 清川	一人ひとりの可能性を最大限に引き出す個別最適な学びと 協働的な学びの実現に向けて ～ICTの効果的な研究～	一人ひとりの可能性を最大限に引き出す、個別最適な学び と協働的な学びの実現に向けて ～学習プランなどを用いて、課題解決力をのばす指導の工夫～
大和	主体的に取り組む態度をみとるための具体的な評価の工夫	授業実践と評価方法の研究
海老名	魅力ある教材・教具の研究	意欲を高める教材の開発
座間	主体的に学習に取り組む学習の研究	ICTを活用した効率的な授業づくり
綾瀬	教材開発と指導法・評価に関する研究	意欲を高めるための教材の開発
相模原	技術・家庭科の見方考え方を働かせ、よりよい生活や持続可能な社会を実現する資質・能力の育成と学習評価の実現	
平塚	評価と指導の一体化	資質・能力を育む家庭科の授業づくり
中郡	情報に関する題材についての教材の研究	食生活における授業改善
伊勢原	実践的、体験的な学習活動を目指した学習指導の工夫 問題解決的な学習や補助的な学習を目指した学習指導の工夫 言語活動の充実を目指した学習指導の工夫	学習指導要領を見通した学習計画の作成及び学習指導と 評価の工夫・改善
秦野	主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善	主体的に学習に取り組む態度を育てる授業実践 ～よりよい食生活をめざして～
南足柄	主体的・対話的で深い学びに向けた授業改善	
足柄上	これからの社会に生きる資質能力の育成	
小田原・ 足柄下	生物育成の技術に関する研究 ～課題解決の具体化と汎用的な教材の作成～	生活や技術を工夫し創造する実践的な態度の育成 ～主体的・対話的で深い学びを通して～